







全国竹芸展

作品展示中

入館無料

竹工芸品展示中

観覧無料

竹の
ギャラリー

八木沢啓道氏
人間国宝

全日本竹芸展
最優秀作品

那須野分館
入館料

那須野分館
入館料



全国竹芸展最

作品展

竹工芸品展示

竹のキリ

八木沢啓造氏
人間

勝城蒼鳳氏

（日本文化財）









佐々木

佐々木 忠司
1925年10月10日生まれ
京都府京都市

優秀賞(栃木県知事賞)

(総文様花籃「卵」) 橋本忠昭
(千葉県佐倉市)

二重編みのゆりかご型に成形された花籃である。表は基本的に6本の竹ヒゴが一単位となり、また、かも縄を縮んでいくように、捺られて斜め上方に構築され、半ばから斜め反対方向に立ち上げられていく。内部の見込みは柳網代、立ち上がりは網代縮みとしている。繊細で華麗な編みが生み出した文様と色は作者ならではのもので、これまで何度も受賞しているが、本作品はそれらを超えてまた新しいスタイルを作り出した。赤のアクセントを控えめで対果的である。それが「卵」であろうか。

(金子賢治氏評)



優秀賞

39

縄文様花籃「卯」
橋本 忠昭

千葉県立美術館

優秀賞(橋本忠昭)
(縄文様花籃「卯」)

二重構造のゆかり型に
表は基本型に6年の時
かし優と橋本で、その
際、表は白の斜め
い、内部の見込みは
は、橋本としての、橋
は文様を界は作者
も受賞しているが、
新しいスタイルを作
て対策的ゆかり



最優秀賞(文部科学大臣賞)

(スピラルの魅惑)

小野塚 昇

(千葉県佐倉市)

赤茶色のゴツとした塊が空に向かって飛び出そうとしている。なんと言っても力強い量感と動勢は魅力的である。作品は無骨に扱われた柯本もこの竹を縦に壺状の形に纏めた上昇気流を感じさせる潔い作品である。赤茶の着彩も作品の形と呼応して固い信念と勇気が込められており作者のセンスの良さを感じる。肩口に取り付けられた二つの小さな耳冠は一考を要する。今後の更なる精進を期待したい。

(日原公大氏評)







最優秀賞

25

スパイラルの魅惑
小野塚 昇

千葉県市川市